

イラン(ペルシア語)

# 異国にて

フォルグ・ファツロフザード

鈴木 珠里 訳

《訳者より》

フォルグ・ファツロフザード(一九三五・六七)イランを代表する現代詩人。イラン現代詩史上初めて女性の情感を率直に表現した女性詩人として文壇デビュー当初から高い評価を得ていた。十六歳で結婚、翌年息子を儲けるが、作詩活動と家庭生活の両立に失敗し、結婚生活は数年で破綻、極度の鬱状態に陥った。このエッセイは、そのような状況から抜け出すために、二十歳の時に初めてイタリアを旅行した時の様子を雑誌『フェルドゥスィー』にて掲載したものである。尚、各章の小見出しは訳者が便宜上、つけ足した。

一・はじめに

十四か月に及ぶヨーロッパ旅行の記憶を、こうして紙に残そうとした瞬間、私は少々絶望的な気持ちになった。実を言えば、この作業は私の記憶力に頼るしかなく、私自身、その点には自信が無く、またこの旅行の思い出自体も、この瞬間まで忘却の埃を被らないくらいに特に輝いて突出したものでない。

残念ながら、この旅において私が準備したメモは手元になく、今すぐ見つけたりそうな気配もない。記憶力に自信のない人間は、そもそもそのメモをどこに置いたのかさえ、思い出すことができず、またそれを誰に相談すべきなのかさえ分からない。とはいえ、私のヨーロッパ滞在を記すために、他人のそれを参考にするには可能だ。というのも、